

# 課題

## 【国語】目的に応じて文章を読み、分かったことをまとめることが苦手

### 手立て

「言葉による見方・考え方」を働かせた授業づくりを行う

### 具体例

#### POINT① 文章の要旨を捉えて、「読み」でもった課題から学習計画を立てる

○文章に何が書かれているのか、内容の大体を捉える  
(初読前に語句の意味を調べる)

- ・何がどのように書かれているのか(文章全体の構成)を捉えて読む。
- ・読みの問い(課題)をもち、読みの目的を明確にする。

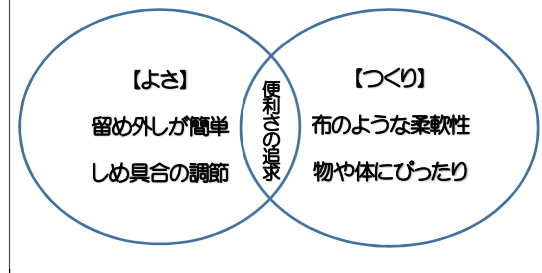
「身近にある便利なものを調べて伝えよう」  
【学習計画】  
① 段落のまじまじの読みを見出しをつける。  
② 仕組みにのりこめて中心となる語や文を見つけて読む。  
③ 文章と図を結び付けて、必要な情報を読む。  
④ 筆者の考えを捉えて自分の考えをまとめる。

#### POINT② 「言葉による見方・考え方」を働かせて、必要な情報を見つけて整理する

○「読むこと」の目的に応じて、図や表の見出しやリード文と文章を線で結び付けて読むことで内容を深く理解する

- ・ICT 機器を活用して、文章と図を結び付けた画面を共有しながら、情報を、思考ツール等を活用してまとめる。

調べたもの



#### POINT③ 「言葉による見方・考え方」を働かせて、分かったことを自分の言葉でまとめる

○目的に応じて文章と図や表を結び付けて読み、見付けた情報をもとに自分の考えをまとめる

- ・自分の見付けた情報を他者と交流し、目的に応じた内容になっているか比較・検討する。
- ・どのような読み方をして、自分の考えをまとめたのかについて振り返る。

《便利さ》  
文章と図をつなげて「便利さ」に着目して読んだら、筆者の考えがよくなりました。便利さについて、いろいろ調べてみることにしました。いろいろ調べてみると、便利さの追求は、私たちが生活の中でよく見かけることだと思いました。